

# 4

## 2040年代の理想の永山駅周辺

### 検討の経緯

第2回ワークショップで「2040年代の理想の永山駅周辺」のイメージ図を作成しました。  
 第3回のポスターセッションにおいて、これをポスターとして掲示し、来場者との意見交換を行いました。その結果を踏まえ、第4回ワークショップで案のブラッシュアップを図りました。

#### ■検討の前提（現在の状況）

**日医大多摩 永山病院**  
老朽化が進み、駅周辺で建替えたい

**さえずりの森**  
有効活用が課題

**駅南側**  
S49 開業で、権利者は少ない

**ベルブ永山**  
H9 開業

**駅北側**  
S49,H3,4 開業で、権利者が複数

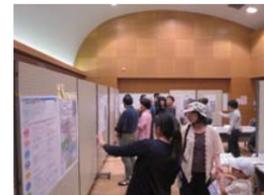
**鉄道駅**  
近年リニューアル済み

**UR 所有地**  
病院建替え用地として、利活用の協議中

**その他**  
市庁舎の建替え候補地となっている



ワークショップの様子



ポスターセッションの様子

### B班 立体都市 永山

#### ■より良くするためのアイデア

- 商業・賑わい**
  - ・個店や小規模店舗で魅力ある商業施設
  - ・子どもの遊び場や地域交流の場を充実
- 文化・交流・働く**
  - ・職住近接や起業を支援する施設
  - ・働くママ向け施設の充実
- 公共施設**
  - ・身近なサービスコーナーは近くに
  - ・ベルブ永山は既存で活用
- 医療・福祉・子育て**
  - ・子育て・高齢者と分けずに世代間交流を図る
  - ・保育園の送り迎えを行いやすく
- 多様な住宅**
  - ・世代間交流を生み出すシェアハウス
  - ・将来永山に住みたいと思うファンを増やす
- 交通**
  - ・1階に駐車場と駐輪場を全て集約する
  - ・小型モビリティで移動できる動線整備
- 緑・オープンスペース**
  - ・既存の緑に加え、オープンスペースを充実
  - ・屋上に展望広場を設ける
- 先端技術**
  - ・自動運転の積極的活用
  - ・職住近接を支援するシステムの導入
- ソフトのまちづくり**
  - ・起業等個人の取組みがしやすい仕組みづくり
  - ・民間による指定管理や住民主体による管理
- 防災・環境**
  - ・周辺団地やマンションの集会所と連携
  - ・多摩産材や間伐材の有効活用

#### ■計画のポイント

- ・駅上に全てを集める
- ・南北をフラットにつなげる
- ・外周に緑を

市役所の移転候補  
カフェのあるオープンスペース  
用途複合住宅  
らせん状スロープでバリアフリー対応  
起業しやすい個店の集積を魅力に  
ターミナル (1F) P(1F)  
中規模商業  
公共施設  
病院  
建物で高低差解消  
公園  
旧東永山小も市役所の移転候補

### A班 ハイブリッドCITY 永山 環覧都市

#### ■より良くするためのアイデア

- 商業・賑わい**
  - ・人々が集まる魅力ある店
  - ・様々な施設やイベントスペースを充実
- 文化・交流・働く**
  - ・スポーツジムなど新たなエンタメ施設
  - ・最先端技術を活用したオフィス
- 公共施設**
  - ・駅前に市役所機能を設ける
  - ・ランドマークとなるタワーの建設
- 医療・福祉・子育て**
  - ・子育て施設・高齢者施設の充実
  - ・高齢者向けのリハビリ施設の拡充
- 多様な住宅**
  - ・学生寮の供給
  - ・若者向けの研修施設
- 交通**
  - ・スカイウェイ (ロープウェイ等) による新交通
  - ・案内サインや屋根の設置
- 緑・オープンスペース**
  - ・ベンチなど座れる場所を設置
  - ・広場を整備し芝生を導入
- 先端技術**
  - ・先端医療 (介護ロボット) や 5G 等の通信インフラ
  - ・スカイウェイによる新交通や物流システム
- ソフトのまちづくり**
  - ・連絡協議会による事業者間連携
  - ・沿道・緑道での屋台・フードカーの運用
- 防災・環境**
  - ・防災ホームセンター設置、公園の防災拠点化
  - ・木造や廃材活用等によるエコな建築

#### ■計画のポイント

- ・スカイウェイ (ロープウェイ) 「多摩の手線」
- ・エコなシンボルツインタワー
- ・低層の賑わい

跡地は北街区と一体的に活用  
ロープウェイ  
病院  
緑と共生したエコなシンボルタワー  
市庁舎、マンション、ホテルなどを集約  
シンボルタワー  
バスターミナル  
スポーツ施設  
商業施設  
公共施設  
病院  
研究・産業  
公園まで続く賑わいの空間  
東永山や尾根幹までのつながり  
スカイウェイは新しい観光資源や物流システムに  
屋台  
公園  
さえずりの森  
交流施設  
住宅  
イベント広場  
交流広場  
イベント広場  
交流・子育て  
公共施設  
病院  
カフェやイベントができる公園

### C班 グリーンウェルネス ～健幸の森大作戦～

#### ■より良くするためのアイデア

- 商業・賑わい**
  - ・個性的な飲食店が出店しやすい仕組み
  - ・店舗の賑わいが見える景観のルール
- 文化・交流・働く**
  - ・コワーキングスペースやものづくり拠点
  - ・働くママ向け施設の充実
- 公共施設**
  - ・市民が自由に使える場を駅近くに
  - ・新しい形態の図書館
- 医療・福祉・子育て**
  - ・子育て施設の充実や機能向上
  - ・永山病院を駅と直結に
- 多様な住宅**
  - ・学生シェアハウスや若者向けの住宅
  - ・住替えの仕組みづくり
- 交通**
  - ・バスプールの拡充や屋根の設置
  - ・遊歩道を活用した次世代交通の導入
- 緑・オープンスペース**
  - ・公園をカフェやイベントで柔軟に利用
  - ・ベンチなど休憩場所を充実
- 先端技術**
  - ・市内を巡回するロボットの導入
  - ・新交通システムの導入
- ソフトのまちづくり**
  - ・ルールを作り運用する組織の立ち上げ
  - ・まちの良さを教える永山らしい教育
- 防災・環境**
  - ・防災拠点になる公園・広場の計画
  - ・充実した避難場所となるような施設の計画

#### ■計画のポイント

- ・緑ゆたかなまち (駅を降りたら広がる森)
- ・東西をつなぐターミナル
- ・北の賑わい、南の交流

交流施設 (リノベーション) 子育て  
住宅  
商業施設 (個人・小型の店舗、コワーキング)  
北側はスロープ沿いの低層個店で賑わい  
全体が森の中のようなまち  
さえずりの森  
イベント広場  
交流広場  
イベント広場  
交流・子育て  
公共施設  
病院  
カフェやイベントができる公園  
南側は交流の拠点

# 5 永山駅周辺再構築ビジョン

諏訪・永山まちづくり計画では、諏訪・永山地区へ若い世代を惹きつけ呼び込み、多摩センター等他駅との役割分担を図りながら誰もが心豊かに住み続けられる諏訪・永山地区の再生へ向けた駅拠点の再構築を目指しています。本ビジョンは、この駅拠点の再構築に向けて、ポスターセッションを含めた全4回のワークショップにて、「永山らしさ」を認識し、2040年代の永山駅周辺をイメージしながらアイデアを出し合い作成されたものです。

## 再構築の考え方

「再構築の考え方」は、後述する「機能と動線図」と「再構築のポイント」を含めた永山駅周辺再構築ビジョンにおける全体の考え方を整理したものです。

- ① 永山らしさである駅前の豊かな緑を資源に、小・中規模店舗の集積とオープンスペースを充実し、周辺商業施設等も含めたソフトのまちづくりと連動することで、緑と賑わいがあふれる駅前へ再構築する
- ② 周辺の良質な既存施設やまちづくり用地と連携し、永山駅周辺で市民交流・職住近接を促進する拠点を充実する
- ③ 駅改札やターミナル、周辺住宅地等との高低差を解消しながら、わかりやすく・移動しやすい動線を形成するとともに、新交通技術等の先端技術活用を図ることで駅と周辺をつなげる新たな歩行者・自動車ネットワークを構築する
- ④ UR 所有地への日医大多摩永山病院の移転と連携を図りながら、健幸都市を目指す諏訪・永山地区全体の再生をリードする永山駅周辺まちづくりを展開する

## 機能と動線図

「機能と動線図」は、前頁にある3班のイメージ図より共通する機能と動線を抽出し、意見交換を踏まえ、まとめたものです。



## 再構築のポイント

「再構築のポイント」は、前頁にある3班のイメージ図のうち「より良くするためのアイデア」を基にたたき台を作成し、意見交換を踏まえ、まとめたものです。

### 全体

高層化、中低層の施設、リノベーションなど、立地に適した規模の建物を検討し、緑を活かした永山らしい景観を形成しよう



### 商業・賑わい

個性ある小規模店舗や多様な活用ができる広場などを一体的に計画し、賑わいの空間を形成しよう



### 文化・交流・働く

職住近接の暮らしや、地域でのチャレンジがしやすい機能や支援を導入しよう



### 先端技術

交通や働き方、情報、日常生活等の地域の課題解決を図る先端技術呼び込み、実践するまちとしよう



### 動線

歩車分離されたデッキや新交通、エリア全体での高低差解消により、バリアフリーで安全に回遊できる動線を確保しよう



### 医療・福祉・子育て

子育て支援機能の充実や、駅近くでの病院の建替えにより、世代間交流や健幸まちづくりをすすめよう



### 多様な住宅

学生や若者から高齢者など誰もがここで暮らしたいと思えるまちにしよう



### ソフトのまちづくり(エリアマネジメント)

地域住民主体のマネジメント組織を設け、個人が活躍しやすい仕組みやまちぐるみの教育、官民協働の管理などをすすめよう



### 交通

交通広場の拡充やバス停の集約などにより、交通利便性を向上しよう



### 公共施設

駅近くに、市民が自由に使える場や身近なサービス窓口を設け、生活利便性を向上しよう



### 緑・オープンスペース

周辺の緑やオープンスペースを保全・活用してネットワークさせ、施設内にも緑を設けて永山らしい駅前しよう



### 防災・環境

施設や公園を防災・環境の視点で計画し、駅周辺を核として地域全体で防災拠点や環境循環型の都市を形成しよう



# 6

## ビジョン策定の経緯

### 第1回ワークショップ

「歩いて見つけよう！永山駅周辺の魅力と課題」

3グループに分かれてまち歩きをし、魅力と課題を話し合いました！

前半のまち歩きは、7～8人ずつ3グループに分かれて行いました。普段あまり歩かない場所や、気に留めたことのない場所なども含めて、様々な魅力と課題を発見することができました。

後半のグループワークでは、各班とも、地図には多くの付せんが貼られ、魅力や課題だけではなく、「こうしたらどうだろう」といったアイデアも盛んに話し合われました。

日時 平成30年6月17日(日) 14:00～17:00

参加者 23名

#### プログラム

- 14:00 ● 全体説明
- 14:15 ● 自己紹介、ルート確認
- 14:20 ● まち歩き  
A班：駅周辺  
B班：駅北側  
C班：駅南側
- 15:25 ● 魅力と課題の整理
- 16:20 ● 各グループの発表
- 16:35 ● 意見交換、総括
- 17:00 ● 閉会



まち歩きの様子



グループワークの様子



全体発表の様子

### 第2回ワークショップ

「理想の永山駅周辺を考えよう！」

魅力と課題を踏まえて、2040年代の永山駅周辺のイメージを描きました！

第1回のまち歩きで把握した永山駅周辺の魅力と課題を踏まえて、2040年代の永山駅周辺を考えました。多摩市から、前提条件となる多摩ニュータウン再生の状況などについて説明もありました。

グループワークでは、立場の異なるメンバーから様々なアイデアが飛び出し、各テーブルとも大変盛り上がりしました。現在の状況や実現性を加味しながらも、夢のあふれるマップが出来上がりました。

日時 平成30年7月29日(日) 14:00～16:30

参加者 22名

#### プログラム

- 14:00 ● 全体説明
- 14:25 ● 自己紹介
- 14:30 ● 「どんな永山駅周辺にしたいか考えよう！」
- 15:00 ● 「2040年駅周辺のマップを作ろう！」
- 15:55 ● 各グループの発表
- 16:10 ● 意見交換、総括
- 16:30 ● 閉会



グループワークの様子



グループワークの様子



発表の様子

報告 多摩市ニュータウン再生推進会議(第1回)  
(平成30年8月22日)

### 第3回(ポスターセッション)

「みんなで描こう 将来の永山駅」

ポスターセッションを開催し、多くの市民の皆さんと意見交換をしました！

永山フェスティバルのプログラムとして開催したポスターセッションでは、135名にのぼる市民の皆さんに会場いただき、ワークショップ参加者との自由な意見交換が行われました。

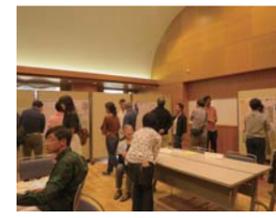
各グループのポスター前で熱心に意見交換する様子が見られ、ご意見ボードにはアイデアが書かれた多くの付せんや「いいねシール」が貼られました。

日時 平成30年9月22日(土) 13:00～17:00  
(うち13:30～15:00ポスターセッション)

来場者 135名

#### 展示内容

- ・ワークショップの概要
- ・第1回ワークショップのまとめ
- ・第2回ワークショップのまとめ
- ・ご意見ボード
- ・アンケート



会場の様子



ポスター前での意見交換



ご意見ボード



模型コーナー

### 第4回ワークショップ

「永山駅周辺再構築ビジョンをまとめよう！」

これまでの議論をふまえて、「再構築のポイント」をとりまとめました！

前半のグループワークでは、第3回に検討した将来マップについて、ポスターセッションで得られた意見や新たな情報を踏まえてブラッシュアップし、各班の共通項から機能と動線の考え方をまとめました。

後半のグループワークでは、新たなテーマについてアイデアを出し合うとともに、ワークショップのまとめとなる「再構築のポイント」について話し合いました。

日時 平成30年11月11日(日) 14:00～17:00

参加者 18名

#### プログラム

- 14:00 ● 全体説明
- 14:25 ● 「将来マップをブラッシュアップしよう！」
- 14:50 ● 前半の発表とまとめ
- 15:25 ● 「再構築のポイントをまとめよう！」
- 16:25 ● 各グループの発表
- 16:40 ● 意見交換、総括
- 17:00 ● 閉会



グループワークの様子



グループワークの様子



発表の様子

報告 多摩市ニュータウン再生推進会議(第2回)  
(平成30年11月29日)  
多摩ニュータウン再生プロジェクト  
第6回シンポジウム(平成31年2月4日)